

乙訓圏域障がい者自立支援協議会
令和3年度 第4回「医療的ケア」委員会 会議録

日時 令和3年12月16日(木) 13:30~15:30

場所 乙訓総合庁舎 第2会議室

出席者 13名

乙訓医師会、キャンパス、向日市社協障がい者地域生活支援センター、乙訓ポニーの学校、乙訓障害者支援事業所連絡協議会、乙訓訪問看護ステーション連絡会、京都府立向日が丘支援学校、乙訓の障害者福祉を進める連絡会(2)、乙訓保健所保健課、乙訓保健所福祉課、向日市障がい者支援課、長岡京市障がい福祉課、大山崎町福祉課

欠席者 6名

乙訓医師会(2)、第2乙訓ひまわり園、乙訓福祉会、京都府乙訓歯科医師会、済生会京都府病院

事務局 2名

傍聴 4名・オンライン視聴 有

配布資料 ・次第

- ・「医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者フォローアップ交流会」(案)
- ・学習会参加者用資料
- ・「医療的ケア」委員会学習会 感想シート

議事の流れ

1 「周知活動に向けた学習会」 当事者委員

医療的ケアを含む重度身体障害者の生活について一僕のこれまで、今、これからの暮らし—

YouTube 限定公開中(希望される方は事務局へ連絡して下さい。)

2 次年度「周知活動」に向けた意見交換

(委員長)

- ・内容のある良いお話をしていただいた。

何か質問等があれば、次年度、民生委員に話をしてもらうにあたってのことも含めて意見をいただ

きたい。

- ・質問だが、アメリカでの障がい者に対する捉え方と日本の今の現実との違いは感じたか。

(委員)

- ・アメリカでは重度の障がいの方でも 24 時間の介助等の制度はまだない。
- ・障がいがあるとかないとかではなくて、個々の権利意識がすごく強い。障がいがあっても学校に行く権利、仕事をする権利があるという感覚が強い。
- ・車椅子移動の違和感がなかった。良くも悪くも特別視されていない感じ。

(副委員長)

- ・障がいのある方との距離を詰められない、そのきっかけもなかなか持てないところは誰もが持っていると思う。その人を知るといこと、その人の考え方に触れるということが話を聞かせてもらって良かった。
- ・次年度、民生委員に対して等の周知の場を二市一町でも設けていただき、その中で当事者委員の話を通して、知っていただくというところの場を設けたい。次年度から動いていきたい。

(事務局)

- ・感想ということで感想シートを 1 枚付けている。時間の制限もあり、意見も出にくいと思うので、書いて帰っていただきたい。
- ・周知活動については当事者の話を周知活動の中に持っていく考えがある。
- ・民生委員だけでなく色々な場があると思うので、相談しながらできたら良いと思う。
- ・周知活動としては当事者の話だけではなく違う形の活動もあると思うので、来年度どうしていくのかという意見もいただきたい。

(委員)

- ・共生社会推進課の方で長岡京市人権啓発推進協議会があり、そこで市民公開講座をされている。障害者部会というのがあり、そこに医療的ケアの周知活動ということで今回の当事者委員のテーマを提案することができるという内諾をいただいている。この委員会の中で承認得られれば正式に依頼をしていこうと思っている。意見をいただけたらと思う。

(事務局)

- ・いつまでに返事したらいいのか。

(委員)

- ・人権啓発推進協議会での検討は翌年度 5 月・6 月ぐらいからスタートしていく。年度内ぐらいに話を持っていけば十分間に合うかと思う。

(事務局)

- ・次回の部会で協議したい。

3 フォローアップ交流会の確認

(委員)

- ・京都府の医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者で乙訓圏域の事業所や機関で仕事をされている方を対象にしたフォローアップ交流会の案をまとめている。
- ・日程は2月17日(木)で、2時間程度を予定している。
- ・現在の状況であれば対面だと考えている。人数制限が必要な状況になればリモートもしくはハイブリッドを考えていきたい。
- ・管内の医療的ケア児等コーディネーター養成研修の修了者、昨年度修了者を含めて全員来ても30名ぐらい。プラスこの「医療的ケア」委員会委員が参加。具体的にどうするかは、これから詰めていく。グループディスカッションや記録等の役割を担って参加してもらいたい。
- ・趣旨等は配布資料を読んでおいてもらいたい。
- ・研修が終わったもののコーディネーター養成研修修了をもって、それぞれがどんな役割を持って仕事をしていけば良いのか、実際に仕事をしている中でどんなことがあって、こういうことが困っている、こういったことを学びたいということ、今回は顔合わせをして、声を出し合って、共有するというのでやっていきたいと思っている。
- ・内容については医療的ケア児支援法が今年の9月に施行されたので、その内容を学ぼうと思っている。京都府障害者支援課に依頼して、内諾はいただいている。30分程度の講演を受けつつ、顔合わせとディスカッションをやっていければと思っている。
- ・次回の委員会が2月のため、委員には随時メール等で確認しながら、進めていきたい。

(事務局)

- ・「医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者フォローアップ交流会」(案)ということで(案)を付けている。12月21日に相談支援事業所連絡会があるので、その場を通じてこの内容と依頼文をコーディネーター養成研修を修了された方に渡したいと思っている。今、確認させていただければ(案)を取って、その段取りに入りたい。
- ・意見がなければ、これで確認とさせていただきます。

4 その他

(委員長)

- ・他に何か意見等あるだろうか。
- ・次回の第5回「医療的ケア」委員会は来年の2月3日木曜日の13時半から。
- ・講演ありがとうございました。

次回：令和4年2月3日(木)13時半から